



外洋レーサーのナビゲーターとして活躍する田口裕介さん。「Kazi」誌でもさまざまな記事を執筆いただいているが、特にデジタルナビゲーション関連には詳しい

①外洋艇ナビゲーター／田口裕介さんの場合

昨年のパールレース（三重県・五ヶ所湾沖～神奈川県・江の島沖：180マイル）で、総合優勝した〈クレセントII〉チームのナビゲーターを務めていたのが田口裕介さん。デジタルツールに造詣が深い、ニューベックのパソコン版を以前から活用しているという。

「レースの際にメインで活用しているのは、ハンディータイプのGPSプロッター（ガーミン社オレゴン650TCJ）です。これとは別に、ニューベッ

クをインストールしたノートパソコンを船に積み、タブレットに飛ばして使っています」

なぜわざわざ二つのツールを併用しているのか。その理由を続ける。

「私が使っているハンディーGPSのマップデータは、細かい部分まで載っていない箇所が多く、情報としては満足できません。例えば、パールレースでは、スタート直後に布施田水道の南を通る際、いくつかの選択肢がある。もちろん風向にもよりますが、小さな島と島の間を通っていけばショートカットにもなるし、定置網がどこにあるかが事前にわかっているれば、いろいろなプランを考えられます。ニューベックには、かなり詳細なデータが入っているので、その情報を持っていることで、攻めのコースが引けることになります」

パールレースでは、江の島沖のフィニッシュが日没後になるケースが多い。フィニッシュライン近くには定置網が多数設置されていて、しかも夜は非常に見えにくい。そんなときにも信用できるデータがあれば、最適なコースを引くことが可能。パールレースに限らず、岩場を波が洗っているようなシチュエーションでも、水深がわかっているれば、怖がらずに攻めていけるという。

「クルージングだろうとレースだろうと、安全が第一であることは変わりません。でも、レースの場合、安全であることに加えて、どこまで攻められるかということが勝敗を左右する。ニューベックには、僕らヨットが知りたい5m以下の等深線まで表示されるので、これが愛用している第一の理由です」

また、田口さんは、レース前にニューベックをさまざまなプランニングにも活用。ニューベックの

詳細なデータが必要なエリアなどと合わせて、紙にプリントしてポケットに入れているという。電子機器やパソコンが使えなくなったときのためのバックアップだ。

「そうそう、ハンディーGPSと違って、ニューベックは大きな画面で見られるのもうれしい。老眼にはやさしいと思います（笑）」

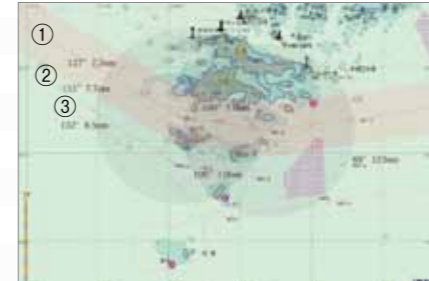
②〈マンデーナイト〉スキッパー／井上卓郎さんの場合

今年のゴールデンウィークの沖縄-東海ヨットレース（沖縄県・宜野湾沖～愛知県・蒲郡沖：720マイル）は、前線を伴う二つの低気圧が本州太平洋岸を直撃し、ときに風速40ktを超えるサバイバルコンディションの中での戦いとなった。このレースに参加した〈マンデーナイト〉チームのスキッパー、井上卓郎さんは振り返る。

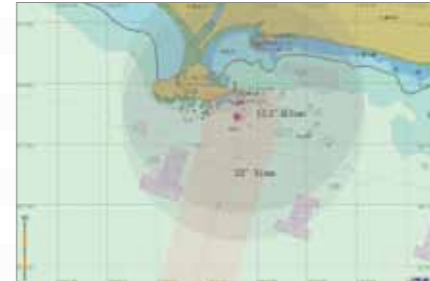
「レースのスタートの直前になって、フネのオルタネーターの故障が判明、充電ができないというトラブルが発生しました。レース中に充電できないとなると、えらいことです」

電気の残量は60%。夜間につける航海灯の分の電源を最優先し、航海計器やパソコンなど、ほかのあらゆる電子機器の電源を落とした。

「コンパスは、ディンギー用コンパスをサブで設置しており、たまたま電源を別系統にしてあったの



田口さんが、昨年のパールレースのスタート前に用意していたコースプラン。布施田水道の南をいかに効率的に進むか。特に①のコースは、ニューベックの情報があれば、自信をもってナビゲーションができる



左と同じく、パールレースのフィニッシュライン近く、江の島の沖。夜間見えにくい定置網が、これだけいつも張り巡らされているが、事前にニューベックの情報を持っていれば、あらかじめ位置を把握できる

で、こちらを使うことはできた。問題はGPSなんですけど、ここで役に立ったのがニューベックのアプリ（ニューベックスマート）。もともとパソコン版を利用しているのですが、スマホ版が出たと知り、事前にダウンロードしてあったのがよかった」

スタート前の回航で使ってみると、パソコン版と変わらず詳細な内容だし、拡大や縮小も思いのまま。コースアップとノースアップの切り替えなど、使いやすい機能も満載だ。船上のどこにいても、手でニューベックが使える喜びを感じたそう。

「実は行きの回航の際、携帯電話の電波が届かないエリアに入ったときにデータが表示されず、これは全然使えないと話していたんです。でも、沖縄に着いてから、よくよく使い方を調べたら、

各エリアのデータを事前にダウンロードしておく必要があることがわかった。スタート前に、九州の北部までダウンロードしておいたおかげで、結果的に助けられることになりました」

風速40ktオーバーのサバイバルコンディションでも、手元のスマホでニューベック情報を確認。「山における遭難にも近い状況」という窮地を乗り切った。

「今やスマホは防水が当たり前で、デッキの上でも気にせず使えます。バッテリーも1日くらいは平気でもつ。クルー全員がアプリをスマホにダウンロードしておけば、それぞれが見られるし、バックアップにもなる。宝の持ち腐れにならないように、使い方マスターしておけばバッチリでしょう（笑）」



左：三重県津市をホームポートに活動する〈マンデーナイト〉（クラス40）。国内のロングオフショアレースには欠かせない常連艇。ニューベックは、パソコン版を以前から活用していた
上：サバイバルコンディションに見舞われた今年の沖縄-東海ヨットレースで、〈マンデーナイト〉のスキッパーを務めた井上卓郎さん。720マイルを走りきり、充実感と安心感に満ちた表情を見せる



宜野湾沖をスタート後、九州南端まで北上するコースを取った〈マンデーナイト〉。電子機器が使えないトラブルを、ニューベックスマートが助けた。5m以下の水深もわかるので、安心して走れる

外洋レーサーはこう使う！ ニューベック活用法

2人のベテランセーラーに聞く 安全に速く走るためのエピソード

広がる ニューベック ファミリー

（一財）日本水路協会が発行する航海用電子参考図「ニューベック」。各種船用機器のマップデータとして導入されるほか、スマホ&タブレット向けアプリも登場し、「ニューベックファミリー」として多くのユーザーに認知されている。今月は、外洋レースの世界に目を向けてみた。ニューベックは、オフショアレーサーにも愛用されている。

航海用電子参考図「new pec」

JHA（一財）日本水路協会

ニューベックファミリー

